

木は1年に1回実をつけ、それを収穫したあとは、長い冬を越えて再び翌年実をつけます。その実を確実に収穫して、次の収穫に備える準備をし、翌年再び実を収穫するという意味で「金のなる木」と名づけました。
【3~5年で資金3倍化を目指して】

■■ 先週の臨時号で予告したように、今週から調整入り ■■
… NYダウの下落と円高進行から、日経平均も急落…

<今年2度目の買いチャンスへ>

先週の6/10(水)の臨時号でS Q (6/12)明けの今週以降、調整入りの可能性高く今年2回目の買いチャンスとしました。先週はS Qに向かって10000円前後があってそこがピークになるとし、結果的にS Q清算日(6/12)に10170円の高値があって△154円の10135円となり、ここがピークとなりました。まわりが総強気となり短期売買が活発化(出来高の急増がそれを示しています)すればそこが目先のピークとなる可能性が高いため、短期売買されている方に注意を促すためあえて臨時号を出しました。今回は日経平均の調整はNYダウ次第ですので、日経平均だけの動きをみていると目先売買に走ってしまう状況でした。結局、週明け6/15(月)のNYダウが急落したのをきっかけに日経平均も調整入りとなり本日▲137円の9703円となっています。日経平均がどこで止まるかはNYダウ次第のところがありますが、チャートを見ると1つの下値ポイントは9500円台、ここを切ると9000円を試す動きということになります。NYダウは昨日は8500ドルを切って8497ドルで終わっていますが重要なポイントは8300ドルを守れるかどうかとなります。これを守れると日経平均も9500円水準で止まる可能性が高くなり8300ドルを割ると8000ドルを切る動きとなり、日経平均は9000円を試す動きとなります。そのため個別株の買い方としては、日経平均の9500円水準のところでは1回目、9000円水準で2回目を目安とすればよいでしょう。

日経平均が先週末に10000円台のせとなったことで主力株のほとんどは目先のピークをつけて、その結果出遅れ株、中低位株、仕手株などが水準訂正を行っています。そこで日経平均が調整にはいれば調整の幅にもよりますが、全体が調整に入りますのでこのレポートの推奨銘柄である低位株の押し目買いとなります。(5/21号、6/4号、押し目待ちの買推奨)2倍化したような銘柄は、調整が長引く可能性がありますので、できるだけ100円台の銘柄に絞った方がよいでしょう。長期保有方針の方はほとんど大底圏からスタートされていると思いますので目先の上下動は気にしないで保有し続けるスタンスとなります。

東証1部の低位株は、水準訂正が進み東証2部や新興市場が水準訂正がはじまっています。この「金のなる木」のレポートでは低位株の中で倒産の可能性が少なく、すぐに換金できるということで原則として東証1部の銘柄に絞っています。途中入会の方は1部市場の大底圏の株を買っていませんので、東証2部の大底圏の銘柄を本日は出すことにします。ただし、東証2部の銘柄は相場が動かない時には出来高が少なく、売りたい時に思った価格で売れないことがあります。そのため、たくさん買わず出来高が上昇して大きく上昇すれば、いったん利益確定することが必要です。

東証1部 出遅れ株

コード 銘柄	6/18の 終値	買ポイント	P B R	配当	テーマ・材料
4004 昭和電工	163	140～150円台 125～135円	0.81	有	石化・アルミ大手でエレクトロニクス事業も温室ガス分解処理設備の設置
5233 太平洋セメント	170	160～170円前後 140～155円	1.13	無	日本・中国の景気対策（公共事業）の恩恵。 世界的な景気回復期待

東証2部 大底圏の株

コード 銘柄	6/18の 終値	買ポイント	P B R	配当	テーマ・材料
4093 東邦アセチレン	97	90～96円前後 80～88円	0.94	無	前期黒字で今期増益見通し。東ソー系で太陽日産、丸紅大株主。景気回復基調で工業ガスの需要増。
6121 滝澤鉄工	90	80～90円 70～75円前後	0.58	無	N C 旋盤とM C (複合加工機) 欧州販売網の構築加速。上海営業拠点の強化。

----- 6/15(月)の出島投資ワールド 一言メッセージより

■■ NYダウはそろそろ要注意！ ■■

先週は、オプションからみるとコール有利となり、S Q清算日に向かって1万円前後を試すとしました。6/10(水)にS Qの週の特有の大きな動きがでて△204円の9991円となり、週末のS Q清算日は前日のアメリカ株式がしっかりしていたこともあり清算値は10147円と高く決まり、その後の日経平均はこのS Q清算値をめざして上昇し、大引けは△154円の10135円となりました。

日経平均はチャート上はすでに中期上昇波動(1年～1年半の上昇)にはいっています。それは終値で昨年の10/15の9601円、11/5の9521円を突破して終わっているからです。そのため大きな調整があればリスクの少ない買い場となり、今年2回目の大チャンスとなるのですが景気回復期待からなかなか押し目らしい押し目もありません。しかし、上昇し続ける相場はなくさらに大きく上昇するためには、それなりの調整が必要となりますのでそれを待つところです。日経平均には何の売りシグナルもでていませんが、NYダウの方にはそろそろという状況(一気に9000ドル接近となれば売りの形になるのですが横向きのみみあいとなっています)ですので6月という要注意の月を考えるとリスクを少なくする投資法はもう少し待つということになります。ただし、ある程度リスクをとれる人は調整局面をむかえても東証一部の主力銘柄中心となりますので、あまり上昇しておらず過熱感のない銘柄は出遅れ物色となって来るかもしれません。短期売買のコースである出島テクニカルワールドでは主力株が調整をむかえると出遅れ物色がでて二部市場や新興市場の割安銘柄が物色されるとし、特に今後の業績の回復が見込まれる事業を展開している様な銘柄は買いチャンスとみています。

本日の日経平均は、1本調子の上昇となっていた主力株の利益確定売りが先行し、又、S Q通貨後の一服感から軟調な動きとなり前引けは▲67円の10068円でした。後場になるとアジア株式も軟調だったことから下げ幅を拡大し10029円まで売られました。10000円近辺では年金の買いが入っており、下げ渋って大引けは▲96円の10039円となりました。これでNYダウが調整に入ると連動するところですので

で、今週のNYダウの動きは要注意となります。ただし、調整となった場合の調整の程度がどれくらいかは少しわかりにくいところがあります。日米ともに大型の景気対策があるため下げると押し目買いがすぐに入るからです。NYダウの目先の下値ポイントは 8300 ドル水準でここで止まれば日経平均も 25 日移動平均線のある 9500 円水準となり、NYダウが 8300 ドルを切ると日経平均ももう一段の下がることになります。現時点では 9500 円水準が 1 つ目の買いポイントになるかもしれませんが、NYダウの動きをみながらの判断となります。

柴田野線「諺」一〇八話集

野線継承者 柴田 豊秋(柴田秋豊氏の長男)

～ 柴田野線「諺」108 話集への思い ～

想い起こせば十九才より父に弟子入りし野線に携わってから私も七十七喜寿を迎える年齢となり人生も残り少なく頭の回転が衰えない記憶がある内にといい老骨に鞭打ち打ち最後のご奉公と筆を取りました。古来文人が掛軸にかかっている達筆でもなく誰でも読める自筆で執筆いたしました。

親子二代、八十数年を過ぎ父秋豊研究奥儀の数々を基礎に研究改良をし史料を発表しなければ親子二代後世に悔いを残す、あらゆる奥儀を発表する時期だと思ひ立ち著述に至りました。

私達軍国主義時代に育った年齢は悲しいかな子供、孫達も簡単に打てるパソコン、英語が大の苦手、原稿も自筆で文章も次々と浮かぶ苦勞の連続であり今日迄書き留めた連載、父秋豊から教を受けた事、私が長い相場界で気づき疑問に思った事を「諺」として著述にからめ今後野線投資に携わる人達の迷った時の一助になれば幸いと思っています。

古来の文人が掛軸にかかっているのは達筆で我々凡人には仲々読むことが出来ません、父からは文字は下手でも良い誰でも読める字を書く事と云われていたが、素人の事、文法上の誤り文面で重複することもありますが一話一話に意味が違いますので支障はありません。確かに父が研究し編み出した野線観測、棒足順張り、逆張り、鉤足を発表して北海道から日本橋に移り住み野線の復興に取り組んだが北海道の野線屋一と擲掄され軽視されました。今日では野線は「チャート」と呼ばれているが私は野線と云う単語に愛着があり今後も野線という文章一本で表現したいと思っております。

当時を振り返ると悔しく、辛い時期もあったが父の供をして一世を風靡した「赤いダイヤ」のモデルといわれた佐藤和三郎氏、売の山種と語り草となった山崎種次郎氏、立花証券の創設者独眼流のペンネームで執筆石井久氏、数々の相場師に会いお話をさせて戴いた事は相場観測の違いこそあれ、当時若かった私の人生の宝と思っており感謝しております。普通なら後身に譲り隠居する歳ですが、父を初め諸先輩に追い付き追い越せの気持ちで筆を持ち書きつづけ死が来る迄、研究、野線追及してゆきたい。

何如に奥儀を会得理解していても資金面様々の事情から大勢、中勢、目先、日計り売買に自ずと比の場面で果たして途転か利喰いか若しくは手仕舞いかの決断に迷いが生じたときの一助となればとの思いから野線観測から見た一〇八話を今日迄の成功、失敗から感じた体験を「諺」として纏め投資の一助となればとの思いです。古来「諺」は古典古人の先駆者、先祖、先人から言い伝えられた人類の智恵の結晶だと思っている。日常何気なく使われている諺は誠に意味深い。

あらゆる科学が発達した現在と違い、天候の雨、雪の量、寒さ暑さから作物の種蒔き収穫時、日常の生活に密着し、「諺」として残り実際に何気なく伝えられ使われている。

私も含め何如に奥儀を吸収、理解していても必ずや出勤に欲が付きまとい迷いが生じる事もある。比の「諺」は投資の心得として読んで戴きたい。柴田野線「諺」一〇八話集は相場投資、人生の奥儀とも思ひ信じている。投機、投資者は元より、相場に関係ない経営者、個人の皆様にも一読して戴き、人生の一翼となれば幸と思っています。

豊秋

※このページは初めての方のために毎回記載します
柴田秋豊氏に興味がある方は自伝を漫画化したものがあります。ズバ株 HP のトップページにございます
<http://www.zubakabu80.com/>

第十六話 数回の連続的中ならまぐれ偶然でも当たる

父秋豊が「私の履歴書」にも書いている通り、富山県から北海道開拓移民として祖父母、姉妹と空知平野の片隅、清真布字必成に移住した。後に栗沢町～現在の岩見沢市栗沢町となるも、移住当時百姓として苦闘の末一応小作人も使う田地、田畑を持つ迄になったが、魔が差したのか恐る恐る小樽米穀取引所で先物定期米一口百石を清算取引をしたのが幸か不幸か素人の勘、尽き当りに当り父も相場を甘く見て侮り、世間は忠吉さん（本名）は一世を風靡していたと当時の古老は話していた。調子に乗り「矢でも鉄砲でも持って来い」の勢いだったと聞いているが、相場投資を甘く見た付けが一瞬にして破産、数回・数年は偶然でも当る事もあるが「百発百中」は有り得ないと父は私に経験を教えた。昨今ホームページ、著書等で絶対との宣伝文句を見かけるが有り得ないと断言できる。

第十七話 広告は真実か否か見分ける事が必要

株価、商品相場が急騰落をすると新聞、雑誌、テレビ等で解説者を交え賑わせるが、過去日経二二五平均株価も四万円寸前迄高騰しバブル崩壊で八千円割れ迄暴落し、銀行、四大証券の一角も破綻。この証券会社は相場のプロ集団であることを考えると、相場観測の難しさ、相場に騰落は当然あり、これに便乗して株式、商品業者又は相場に関係する指導者も一斉に宣伝をしているが、古今東西いかなる相場でも必ずや天底がある事を知るべきである。

第十八話 次節、目先なら誰でも瞬間的に解るが仕掛けのタイミングが重要

今日はネットでの売買、大変便利な時代ではあるが反面トラブルも多発していると聞き、昔の場立（手振り）が懐かしくも思うがこれも時代の流れか。昔から場立に蔵が建ったためしなしの言い伝えがあるが、場立の人は自社からの指令にて売買する。株数、枚数、仕手筋の動きが一番解るのが場立の人達であり、目先が解り過ぎ大儲けし大成したとの話しは私の長い相場人生で聞いた事がない。あまりにも目先の動き情報が解り過ぎる為か、現在の日計り売買に似ているのではないか、杞憂を感じているが取り越し苦労とならなければ幸いだが。